

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2005-507186 (P2005-507186A)
 【公表日】平成 17 年 3 月 10 日 (2005.3.10)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-010
 【出願番号】特願 2003-513237 (P2003-513237)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 5/92 (2006.01)

H 0 4 N 5/76 (2006.01)

H 0 4 N 7/32 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/92 H

H 0 4 N 5/76 A

H 0 4 N 7/137 Z

【手続補正書】
 【提出日】平成 17 年 5 月 19 日 (2005.5.19)
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

予測ピクチャを含むビデオ・セグメントを記憶媒体に録画する方法であって、
 前記予測ピクチャの一部を選択的に復号してイントラ・ピクチャに再符号化し、前記復号した予測ピクチャを前記イントラ・ピクチャで置き換えるステップと、
 前記復号して再符号化した予測ピクチャを、トリック再生モードで使用するために前記記憶媒体に録画するステップと、を含む、前記方法。

【請求項 2】

前記ビデオ・セグメントは少なくとも 1 つの導入予測ピクチャを含み、前記置き換えるステップが更に、所定数の前記導入予測ピクチャを選択的に復号して、正しく復号された予測ピクチャを得るステップを含む、請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

前記導入予測ピクチャそれぞれの一部はイントラ・マクロブロックを含み、前記所定数は前記導入予測ピクチャそれぞれのの中の前記イントラ・マクロブロックの量に部分的に基づく、請求項 2 記載の方法。

【請求項 4】

前記ビデオ・セグメントは少なくとも 1 つの後続の予測ピクチャを含み、前記置き換えるステップは更に、
 前記後続の予測ピクチャを選択的に復号するステップと、
 前記後続の予測ピクチャおよび前記導入予測ピクチャを含むグループから選択された予測ピクチャをイントラ・ピクチャに選択的に再符号化するステップとを含む、請求項 2 記載の方法。

【請求項 5】

前記ビデオ・セグメントは、イントラ・ピクチャを全く含んでいない M P E G ビデオ・セグメントである、請求項 1 記載の方法。

【請求項 6】

ビデオ・セグメントを記憶媒体に録画するシステムであって、
少なくとも１つの予測ピクチャを含む前記ビデオ・セグメントを受け取るための受信機と、

前記少なくとも１つの予測ピクチャを選択的にイントラ・ピクチャに変換し、それにより前記少なくとも１つの予測ピクチャを前記イントラ・ピクチャで置き換えるようにプログラムされたビデオ処理回路と、を備える、前記システム。

【請求項 7】

前記ビデオ・セグメントは少なくとも１つの導入予測ピクチャを含み、前記ビデオ処理回路は更に、所定数の前記導入予測ピクチャを選択的に復号して、正しく復号された予測ピクチャを得るようにプログラムされた、請求項 6 記載のシステム。

【請求項 8】

前記導入予測ピクチャそれぞれの一部がイントラ・マクロブロックを含み、前記所定数は前記導入予測ピクチャそれぞれのの中の前記イントラ・マクロブロックの量に部分的に基づく、請求項 7 記載のシステム。

【請求項 9】

前記ビデオ・セグメントは少なくとも１つの後続の予測ピクチャを含み、前記ビデオ処理回路は更に、前記後続の予測ピクチャを選択的に復号し、前記後続の予測ピクチャおよび前記導入予測ピクチャを含むグループから選択された予測ピクチャをイントラ・ピクチャに選択的に再符号化するようにプログラムされた、請求項 7 記載のシステム。

【請求項 10】

前記ビデオ・セグメントは、イントラ・ピクチャを全く含んでいない M P E G ビデオ・セグメントである、請求項 6 記載のシステム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】ビデオ・セグメントを記憶媒体に録画する方法およびシステム